


たが

こんにちは 
議会です!!



豪雪でフル回転の町除雪ドーザー・住民による町道除雪

- ・ 12月定例会 2P
- ・ 各常任委員会報告 4P
- ・ 臨時会 5P
- ・ 一般質問 7議員が問う 6P
- ・ 住民の声 12P

第108号

平成18年2月1日発行
発行責任者 議長 飯尾 淳一郎
編集 広報発行対策特別委員会

滋賀県犬上郡多賀町大字多賀324
〒522-0341 ☎0749(48)8126
FAX 0749(48)0157
有線 2-2011

ホームページ <http://www.tagatown.jp>
E-mail gikai@tagatown.jp

2006年

迎春

町民皆様のご健康とご多幸を
心よりお祈り申し上げます



新年のご挨拶

議長 飯尾淳一郎

新年明けましておめでとう
ございます。

昨年わが国では戦後六
〇年、本町では町制施行
五〇周年という節目の年
でもありました。

また、昨年の主な出来
事として、国内では台風
14号による甚大な災害
があり、JR福知山線の
電車脱線事故のように予
防可能な被害も多く発生
しています。世界では、
大きな戦禍はないもの
の、イラクに平和が戻るこ
とも遅れ、無差別テロの発
生やパリを中心とした暴
動など、世界平和には程
遠い不安の多い年であり
ました。

国内政治では、国・地
方の行財政改革のうち、
三位一体改革の中身がほ
ぼ固まり、いよいよ地方
の時代の幕開けの年を迎
えた感じがいたします。新
しい地方形成のための県

下の合併状況は本年三月
末には13市13町になる
予定で進んでいます。

地方分権の必要性を要
約いたしますと、長期に
わたる中央集権のもとで
は「高コスト・不満足社
会」から「低コスト・満
足社会」の実現が必要と
位置づけています。理由
は、長い官僚政治による
閉塞状況が、政治・行政・
地域社会のあらゆること
で制度疲労を起こして
います。このため、地域
住民自ら考え行動できる
自主自立・協働の社会の
実現が必要とこのことす
私たちの多賀町は五〇
年の歩みを大切に受け止
め、新しい時代に対応可
能な心構えを再認識し、
皆様のご理解を得ながら
当面の改革と地域社会の
振興のため努力いたしま
す。

臨時保育士賃金
一〇三万円
合併処理浄化槽設置事
業補助金
二四六万円
合併処理浄化槽設備特
別補助金
一一一万円
集落ぐるみ需要調整対
策事業補助金
二二八万円
自動給水栓設置工事
三九八万円
県単独治山工事
七七六万円
交通安全対策工事
一五〇万円
道路改良に伴う補償費
一七六万円
長期債元金償還
一億七、四九二万円



土田 雅孝

山口 久男

辻 孝太郎

議長 飯尾 淳一郎

木村 晴彦

副議長 安藤 直毅

野村 吉晴

深田 治夫

久保 久良

多林 徳三

一二月定例会は、一二月一三日から二〇日ま
での日程で開かれた。
推せん一件、条例二三件、規約変更八件、補
正予算六件、請負契約一件が原案どおり可決さ
れた。

推せん

人権擁護委員

八重練
吉田 義和氏(再) 六八歳



平成一七年度補正予算

◎一般会計

歳入の主なもの
二億二二万円を追加
他市町村より受託する
保育負担金 六三九万円
保険基盤安定負担金 二八二万円
合併処理浄化槽設置整
備事業交付金 一五〇万円

歳出の主なもの
減債基金繰入金 一四〇万円
前年度繰越金 一億円
七、七七〇万円
国民健康保険特別会計
保険基盤安定繰出金 六一〇万円
生活支援ハウス補助金 二六六万円

◎特別会計

国民健康保険
二、四三九万円を追加
主なもの
一般分療養給付費 二、二八三万円
退職者分療養給付費 二、七八七万円

老人保健医療費拠出金
三、〇八六万円(減額)
介護保険
一、一二六万円を追加
主なもの
過年度還付金 一、一二六万円
下水道事業
二、二一〇万円(減額)
農業集落排水事業
一五〇万円を追加

条例改正

多賀町公の施設に係る
指定管理者の指定手続き
等に関する条例
指定管理に対象となる
公の施設は次の通り。
消防センター
地域振興施設
大君ヶ畑体育館
集会所
おしどりの里
栗栖農業センター
広場
中川原草の根ハウス
清涼文化センター
淡海文化創造館
福祉会館
老人憩の家

請負契約変更

農業集落排水資源循環
統合補助事業、佐目南後
谷工区管路工事
契約金額
一億四、三〇八万円
契約相手
INAX・村田組特定建
設工事共同企業体
(株) INAX関西統括
支社

意見書 国へ申す

町民生活を支える 道路の整備促進と財源の 確保に関する意見書

道路は、町民の日常生活や経済・社会活動を支える最も基礎的な社会資本であり、真に豊かさを実感できる社会の実現や災害に強いまちづくりを推進するうえで、その整備・充実が必要不可欠である。

しかしながら、本町内の道路整備水準は未だ不十分であり、日常生活を支える県道や町道の整備促進、さらには、渋滞解消による沿道環境保全、交通安全対策、道路防災対策等、計画的かつ緊急的な道路整備の推進が強く求められているところであり、これらを今後も着実に推進していくうえで、道路財源の確保は不可欠である。

多賀町の道路状況は、国道に関しては一次改良が終わったものの歩道が未整備であり、主要地方道の改良率は33%、一般道の改良率は28%、町道の改良率は58%であり、まだまだ充分といえる状況ではない。

今般、国において、道路特定財源の見直し議論が進められているが、本町の実情からすれば、地方の道路整備が着実に推進できる方向で議論されることが重要である。

よって、政府ならびに国会におかれては、地方における道路整備の緊急かつ重要性を深く認識いただき、次の事項について特段の配慮がなされるよう強く要望する。

記

- 一、道路特定財源については、制度の趣旨を踏まえ、道路整備に充てる財源として確保するとともに、地方への税源移譲も含め、その配分割合を増やすなど、地方における道路整備を着実に推進できるように充実を図ること。
- 二、平成一八年度予算編成においては、町民の期待する道路整備が効果的かつ効率的に推進できること。

一、平成一八年度予算規模は、

二、平成一七年度同規模になると思われる。

三、平成一七年度同規模になると思われる。

四、平成一七年度同規模になると思われる。

五、平成一七年度同規模になると思われる。

総務常任委員会

二月二五日、平成一七年度一般会計補正予算、平成一七年度国民健康保険特別会計補正予算を審査し、全員賛成で可決すべきものとした。

質疑応答

- 問 平成一八年度予算規模は、
- 答 平成一七年度同規模になると思われる。
- 問 工業団地内マルタク跡地の状況は、
- 答 浪華絹綿株式会社(産業用不織布製造)が営業する事となった。
- 問 ゴミ減量化説明会のリサイクル施設の具体策は、
- 答 意見をまとめて施設の計画を考える。
- 問 大滝小学校体育館改築計画の状況は、
- 答 現時点では業者に設計見積委託をしている。
- 問 児童通学路の安全策は、
- 答 学校から各学年の下校



時間を保護者に連絡し警報プザーの携帯、子ども一〇番のおうちの確認をしている。

問 国保会計収支状況は、

答 基金を取りくずして運営している。国保税の改定の時期がきている。

問 本町の税額レベルは、

答 一人当たり平均五万八千円で他町と比較して平均以下である。

(日時) 十月六日
(場所) 長野県木曾郡上松町
(案件) 総合型地域スポーツクラブ「木曾ひのきつ子ゆうゆうクラブ」運営全般を取りまとめるクラブマネージャーを配置する。

NPO法人として会費で運営する。

大人一、〇五〇円、四、〇〇〇円まで5段階、家族会費一万円。

就学期には競うスポーツ、就学期には町内地域ごとにスポーツサークルを配し、多様目の中で健康づくりと住民の連携作りに役立てる事を目的とする。子どもの体力づくりとして保健師、保育士が連携し「足裏作り」を通して推進している。

閉会中の報告

二、平成一七年度同規模になると思われる。

三、平成一七年度同規模になると思われる。

四、平成一七年度同規模になると思われる。

五、平成一七年度同規模になると思われる。

産業建設常任委員会

二月二五日、平成一七年度一般会計補正予算、平成一七年度下水道事業特別会計補正予算、平成一七年度農業集落排水事業特別会計補正予算、平成一七年度水道事業補正予算、農業集落排水事業、佐目南後谷管路工事の請負契約の変更について審査し、全員賛成で可決すべきものとした。

閉会中の報告

(日時) 十月七日
(場所) 長野県高井郡小布施町
(案件) 「景観づくり・まちづくりについて」

視察研修

小布施町は、長野県の北東部に位置し、千曲川を挟み長野市と接している。古くから栗菓子の産地で有名であり、これを生かした街づくりの成功例としても評価が高い。多賀町商工会関係者との交流もあり今回委員会視察研修を実施した。

〔まちづくりの経緯〕
北斎館の開館
浮世絵師として有名であった葛飾北斎が晩年四回

にわたり当地を訪れ、多くの肉筆画をこの地に残した。

その保存展示のために建設した北斎館に、全国から大勢の人が訪れるようになった。

昭和五六年に第二次総合計画が策定され、「緑と水と歴史の町、暮らしに文化が息づく町、特色ある産業の町、そこに生きる喜びと誇りを感じる町」を目指すとされている。

現在は平成一三年に策定した第四次町総合計画に沿って進めている。

主な施策としては、「住まいづくりマニュアル」住宅、店舗の新増築に對して、固定資産税の最高一〇万円三年限の減免生け垣づくりのためにブロックの摒撤去の場合、最大七万円、看板撤去は五万円の助成をしている。

「外は皆のもの、内は個人のもの」との考えで、町内の花で飾られた民家の庭を一般公開し、訪れ

質疑応答

- 問 ガイドブックに三社まわり等強調しては、
- 答 大きな変更は無理だが、何点かは改良する。
- 問 高取山の水路工事は三面張りではなく、側面は自然のままではないのでは、
- 答 水量が少ないため、底面は自然石を敷く。
- 問 農集排(佐目南後谷管路工事)契約変更額について、値引交渉したのか。

二億一六〇万円

近江八幡市馬淵町四五

藤吉工業株式会社

大阪支社 滋賀営業所

臨時会

平成一七年十月二八日臨時会を開催し、条例改正二件、請負契約一件を可決した。

条例改正

- ・町職員の給与に関する条例の一部改正
- ・扶養手当一三、五〇〇円を一三、〇〇〇円に引き下げるなど。
- ・特別職の職員で常勤の給与および旅費に関する条例の一部改正

請負契約

- ・萱原地区農集排処理施設整備工事
- 契約金額 二億一六〇万円
- 契約相手 近江八幡市馬淵町四五
- 一一一 藤吉工業株式会社
- 大阪支社 滋賀営業所



栗の木が埋めこまれた歩道 (小布施町)

た人との交流の場、もてなしの場として花の町づくりを進めている。

年間一〇〇万人の観光客が訪れるようになった。

ハード面の整備については民間活力に負うところが多い。各種イベント開

催を担当している第三セクター「株式会社ア・ラ・小布施」の存在も大きなものがあると感じられた。



久保 久良議員

町内31カ字でゴミ収集に関する懇談会が持たれ、生活環境課より今後の取り組みとして提案された。リサイクル施設の建設の有料化による粗大ゴミの個別収集は、いつ実現可能か。生ゴミは処理量の半分を占める。家庭内で処理すると、年間二、〇〇〇万円以上の経費削減になる。今後、各家庭でどのように処理機の普及を図っていくか。

有料化による粗大ゴミの個別収集を 一九年度より実施したい

—環境生活課長—

久保議員

町内31カ字でゴミ収集に関する懇談会が持たれ、生活環境課より今後の取り組みとして提案された。

環境生活課長

リサイクル施設の設置については必要であると賛同していただいた。今後、土地、施設の管理運営など慎重に検討し、できる部分から実施したい。有料化による収集についても理解が得られたので、一九年度より実施したい。

生ゴミの減量については処理機の補助金制度を継続するのが不可欠である。処理機を家庭や公共施設に普及させるために処理機に対する認識を持つてもらうことが必要である。今後、普及促進をお願いしたい。

「パートナーシップ協定」の締結は 効果があれば検討したい

—町長—



県立大学生と多賀住民によるまちづくり会議

久保議員 多賀町で、県立大学との連携・相互協力が深められている。この関係により充実したものにするため、県立大学と「パートナーシップ協定」を締結することが、今後の多賀町の活性化につながるのではないか。

町長 外部の意見や知識などを取り入れながら行っており、県立大学とも教育委員会、農林商工課所管などで数々の交流がある。県立大学の提携については大学の意向も踏まえ、提携の内容や今後の共同事業のあり方など十分に検討する必要がある。慎重に準備を進め、双方に効果があれば、協力協働関係の提携をしたい。

各種事業を進める中、



野村 吉晴議員

一七年度中に水没地区の用地環境の確保作業を終え、一八年度には地元ダム対策委員会に保証基準を示し、一九年度には保証基準の締結が予定されている。

水没地区の移転先は 早く移転を実現したい

—町長—

野村議員

ダム建設は、自治体の財政難や環境問題など99カ所が中止され、全国的に中止の方向にある。芹谷ダムは穴あきダムで、常時水を貯めない環境に配慮したダムであり、芹川の治水対策上必要とされたダム建設事業である。現在、芹谷ダム建設事業は道路改修や調査を中心に進められている。水没地区の移転先も確保されており、一日も早い家屋移転を実現すべきと考えるが。

町長



移転先に予定されている旧住友グランド跡地

締結後、事業用地の地権者の皆さんに個別補償額の提示を行い、保証契約後順次家屋移転をお願いしたい。

J Aに収支一覽表の作成依頼を 収支全体の記帳について J Aと研究、検討したい

—税務課長—

野村議員

農業従事者は高齢者が多く、領収書の紛失などが考えられる。農業資材水稲の苗、乾燥、出荷のほとんどがJ Aで扱い、その都度伝票を発行されている。他県では、J Aが農家の申告の簿記記帳代行を始めたと報道されている。出納全体を任ずるか、取引分の仕訳だけを任ずるか、有償でもよいので、一年間の「収支一覽表」を作成してもらおうよう、行政指導できないか。

税務課長

従来の農業所得標準が一八年度より廃止され、各農家で収支計算書を記帳していた。J Aより収支の資料は作成できるとのことである。収支全体の記帳については、現在不確定であるため、領収書の保管を促していただくよう、お知らせしている。他県も参考にしながら、税務署指導のもと、J Aと研究検討したい。



谷川 利治議員

合併が破綻した今、多くの町民は多賀町の今後について高い関心を持っている。明確な指針を町民に知らせる必要がある。九月定例会で合意されている財政状況のシミュレーションを築成する必要がある。発表はいつ頃か。

町長

合併はどうしても必要と考えているが、現時点では単独で歩まざるを得ないと考えている。多賀独自で歩む選択肢もあるが、今後財政的に厳しい状況になってくる。今後五年後の財政を想定して、財政健全化のための財政計画シミュレーションを一八年三月定例会で示したい。

財政シミュレーションを三月定例会で示す

—町長—



山口 久男議員

佐目・梨ノ木間の道路改良を早期の改良を要望したい

—建設課長—

山口議員

306号線佐目・梨ノ木間の道路は、歩道の未設置や急勾配カーブの部分が残されている。大型車の通行量も増え、積雪時にはスリップ事故や過去には死亡事故も起こっており、危険な道路である。道路構造上の問題も考えられることから、早急に改良を願いたい。

建設課長

機会あるごとに県に要望してきたが、今のところ改良計画はなく、アクションプログラムに記載されていない。危険な道路でもあり、本町の幹線道路であることから、早期道路改良を要望してまいりたい。冬期に入り、スリップ事故等も起きる状況が生まれる。現地を見、道路構造上の問題等を県に訴えていきたい。

山口議員

本町でも少子化が進んでおり、人口減少に歯止めがかかっていない。人口統計では若年人口の減

乳幼児医療費助成の拡充を国・県の動向を見ながら検討する

—町長—

少が続けている。少子化の要因は子育てに対する経済的負担によるものと考えられる。多賀町次世代育成支援に関するニーズ調査でも「経済的要因」を51%の人が上げている。

県下の多くの市町では、県の施策に上乗せして、入院・通院とも対象年齢を就学前まで拡大し、乳幼児医療費無料化を実施している。少子化が進む多賀町にとって、乳幼児医療費助成の拡充は重要な施策である。少子化問題は町上げて取り組むべき課題である。予算配分も含め、思い切った施策を展開すべきだ。

町長

少子化対策・子育て支援には、助成は必要と考へる。現行でも公費負担であり上乗せ助成すれば全額が町費負担となる。就学前まで拡大した場合、単純計算で自己負担



子育て支援サークル

ありで約四九〇万円。通院・入院とも無料化した場合八八〇万円の負担増となる。本町の診療率は県下で上位にあり、無料となると診療費が増えてくると思われ、財政負担も多くなる。国・県の動向を見ながら検討する。



木村 晴彦議員

琵琶湖森林づくり条例で本町の林業振興を里山の整備などで国、県の施策を有効に活用したい

—農林商工課長—

木村議員

滋賀県は琵琶湖の豊かな水を守り洪水や土砂災害を防ぐ目的で、事業費を六億と定めて森林づくり県民税を創設した。環境を重視した森林づくり、県民協働による森林づくりを柱とした事業が一八年四月から実施される。

多賀町にとって荒廃している里山の整備、森林環境学習の充実などを図るために、この事業を活用すべきである。どの事業を取り入れ、現行の国県の事業と合わせて、多賀町の林業振興に役立てよう取り組んでいくのか。

農林商工課長

国、県の施策を有効に活用し、特に次の三点についての取り組みを考えたい。

下刈、木起こしなどの作業と、枝打ち、除間伐を適正に実施しながら、長伐期施業へ誘導したい。間伐材を利用した商品開発や林産物の生産奨励などの収入につながるものを掘り起こしたい。里山を見通し良いものに整備することで、里山の本来の機能を取り戻し、野獣との共生ができる効果も期待している。



木起こし作業の指導を受けている大滝小の子どもたち



土田 雅孝議員

多賀町では、クリーンパトロール隊を設置してゴミの除去や監視を強めるなどしている。ゴミ対策については根本的な収集体制、減量化対策、住民意識の改革など抜本的な対策が必要と

町長

国道307号線沿いのゴミゼロを目指して、ボランティアをされている方の協力も得て、クリーン作戦が実施された。二時間程度で軽トラ一台半のゴミが収集された。今後、自然環境保全維持をはじめ、環境破壊、ゴミ問題に対する予防防止を必要とする。そのため、ポイ捨て禁止条例を制定して、ポイ捨てに規制をかける考えは。

土田議員

考えている。そのためには条例も必要であるが、慎重に検討する必要がある。

町長

ポイ捨て禁止条例の制定は慎重に検討する必要がある



辻 孝太郎議員

辻議員

思い切った行政改革ができるか
簡素で効率的な行政を実現したい

町長

今後の多賀町は合併にかかわらず、行政のスリム化、事業の効率化、経費の節減が不可欠である。また、土地の有効活用を図り、企業誘致、宅地開発など活性化と自主財源のアップを図る必要がある。

町長

自立の町政を築くために、行政のスリム化などの施策を進めるとともに、行政サービスのあり方を見直し、各種団体活動への支援、民間委託や指定管理者制度の活用などを



こども 110 番のおうち

通学路の安全は確保されているか 学校、家庭、地域が連携して安全を確保したい

教育長

辻議員

小学校の幼い子どもたちが誘拐されたり、殺害されたり、不安な時代になってきた。そのような状況の中、多賀町において、通学路の安全は確保されているか。学校、保護者、地域の連携は万全か。子供一〇番のおうちは機能しているか。町独自の安全対策は考えているか。

教育長

子どもの安全確保に向け、学校や家庭や地域が連携して危機意識をともに持つことが必要とされている。小学校では朝は字ごとの集団登校を、下校時は複数名での下校指導を行っている。保護者に対しては、安全確保についての文書を何度も配布している。

子ども一〇番のおうちについては、毎年四月に教職員が子どもとともに位置の確認をしている。子どもの登下校時の安全について、一〇番のおうちだけでなく、全戸に協力をお願いしている。町独自の安全対策としては、町の公用車でパトロールするなどの対策を行っている。

河内の風穴の開発はガイドの養成などできるところから取り組みたい

町長

土田議員

多賀町において、一七年九月に日本洞窟学会が開催された。河内の風穴が調査の結果、長さ六、八〇〇mで日本で第四番目であると発表された。今後、このすばらしい資源を生かすために、道路整備などが必要になってくる。河内の風穴並びにその周辺整備をどのように図っていくのか。

町長

河内の風穴は日本の貴重な宝であり、多賀町の大切な観光資源である。将来的には、ガイドの養成など受け入れ態勢の整備や探検ツアーなどのエコツーリズムの計画、実施などの取り組みを考えたい。現状では困難であるが、風穴近くまでバスで行ける道路整備ができればと願っている。



ボランティアによるクリーン作戦 (SL公園付近)

議会を傍聴して下さい
第1回3月定例会は
3月9日開会の予定です。

コミュニケーション



多賀中学校三年 新谷 佳奈

私は前まではよく友達とメールをしたりしてました。でも、今は実際に会ってコミュニケーションをとるべきだと思います。最近、メールがあるので、人との関わりが薄くなっている気がします。

家族と話したり、友達と話すのは、私にとってリラックスできる安心する場所です。それにメールを使うと、人と話す機会がなくなると思います。



「豊かな心をはぐくむ家庭づくり」 受賞 2 作品



多賀中学校二年 久保田 菜央

相手を思う心

人権と言っても、いろんな考えがあると思います。私は、人権というのは、相手を思う事だと思えます。自分の事ばかり考えるのもいいでしょう。でも、自分のさげない一言や、見かけだけの判断でこの人はどうか、思うのは、絶えず。

対まちがっていると相思相手を思うからこそ、相手が自分の事を思ってくれるはず。そして、みんながそれぞれ違うからいいんです。例えば、みんな私と、長所も短所も考えも全部同じなら、人権的なものはなくなるでしょう。でも、それは逆に、相手のいい事が一つも見つけられないと思えます。私は、相手の事を思う大切さがないにより必要だと思えます。



編集後記

年末から今年に

かけて北信越地方を中心に、この時期としては未曾有の豪雪に見舞われました。多賀町でも大雪で、除雪が追いつかない日が続きました。この時こそお互い助け合いの大切を改めて感じています。

少子高齢化が進んでいる多賀町にとって、今こそ雪害などの危機管理体制を整備する時でないでしょうか。今年も親しみやすいワンドルな年になりますよう祈念したいと思います。今年も親しみのある読みやすい広報誌を目指し努力します。

一年間よろしく
お願いいたします。

久保久良記